

生物多様性保全検討部会での審議内容について

平成 27 年 11 月 4 日に開催した「平成 27 年度第 1 回生物多様性保全検討部会」(以下「部会」という。)での審議内容について御報告します。

1 京都生きもの 100 選の選定について (別紙 1 参照)

平成 27 年 7 月 1 日から 9 月 30 日まで実施した市民投票の結果を踏まえ、部会で「京都生きもの 100 選」(以下「100 選」という。)の選定について審議を行った。

(部会での主な意見)

- ・ 100 選候補に含まれている複数の京野菜の候補を「京の伝統野菜」として 1 つにまとめること。
- ・ 市民投票での 100 位以降にも、100 選として相応しい候補があるので、拾い上げること。

2 京都市生物多様性プランの進捗について (別紙 2 参照)

「京都市生物多様性プラン～生きもの・文化豊かな京都を未来へ～」(以下「プラン」という。)の進行管理及び取組状況について、意見交換を行った。

(部会での主な意見)

- ・ プランの目標年度(平成 32 年度)の中間期(平成 29 年度頃)に市民及び事業者の意識調査を行い、目標年度に向けた取組の見直しを検討すべきである。
- ・ プランのリーディング事業については、着実に推進されているが、引き続き、部会委員の協力等により、取組を加速していただきたい。

3 今後の取組について

これまでのプランに基づく取組を踏まえ、今後の取組について、意見交換を行った。

(部会での主な意見)

- ・ 今後の取組として、絶滅危惧種についての啓発や保全の取組などを、関係機関と連携し進めていくべきである。
- ・ 保全活動をしている地元市民や団体と連携し、親子生きもの探偵団の開催や京都生きもの 100 選の周知などの取組を展開していくことを目指してほしい。